

Ⅲ 本件放送1及び2に関する委員会の判断 ——選挙制度に対する理解を深めて欲しい

1 本件放送1及び2に共通する問題点

長野朝日放送の『a b nステーション』と信越放送の『S B Cニュースワイド』は、参院選の比例代表における非拘束名簿式の投票方法を説明し、視聴者に制度の理解と選挙への関心を高めてもらう目的で、それぞれ本件放送1及び2を企画した。この企画意図自体は意欲的なものであったが、非拘束名簿式の制度を紹介するために、両放送局が例として選んだのは、長野県に在住もしくは党県連に所属している4人の候補者（民主党2人、自民党1人、共産党1人）のみであった。

本件放送1及び2に共通する問題点は、非拘束名簿式の投票方法を視聴者にわかりやすく伝えることに集中するあまり、前提である参院選の比例代表という選挙制度自体を正しく理解して放送することを怠ったことにあると考えられる。

2 参議院比例代表選挙制度の変遷

参院選に比例代表が導入されたのは、1982年の公職選挙法改正に遡る。都道府県が対象の地方区が「選挙区」に、全国区が「比例代表」になり、拘束名簿式が採用された。これは、有権者が政党に投票し、その得票数によって政党に議席が割り当てられ、あらかじめ作成された名簿の順位が上の候補者から当選するという制度であった。これによって、死票を最小限にとどめ、政党を媒介にしながらではあるが国民＝有権者の政治意思を忠実に議席に反映しうるとされた。

その後、2000年に、比例代表の拘束名簿式が非拘束名簿式に変更された。有権者は、政党を選ぶ「政党名投票」と政党が提出した名簿に登載された候補者から1人を選ぶ「候補者投票」のいずれかを選択できることになった。政党名と候補者名の総得票数によって政党に議席が割り当てられ、政党内で候補者投票の得票が多い者から順番に当選する。この非拘束名簿式は、拘束名簿式と比べて、当選者の決定について、有権者の意思がより反映される面があるとされる。今回の参院選は、非拘束名簿式が導入されてから4回目の選挙にあたる。

3 委員会の判断

前記のとおり、比例代表はすべての都道府県、すなわち全国をひとつの選挙区域としており、制度上、「長野県」というような都道府県のひとつを選挙区域の区切りにはすることはあり得ない。放送局が独断で比例代表制の設定している選挙区域と異なる区切りを設定し、限られた候補者のみを取り上げて放送することは、選挙の公平・公正性を害し、選挙制度それ自体を歪めることになる。

このことはたとえば、参院選の比例代表に立候補したスポーツ選手やタレントのみを取り上げて選挙に関する番組を制作・放送した場合を考えてみればよい。これは、放送局が比例代表の制度上存在しないスポーツ選手という区切り、タレントという区切りを作り出したことになり、しかも、他の候補者に全く触れていない点で、これら候補者をきわめて不公平に取り扱ったことになる。

本件放送1及び2は、比例代表について、制度上あり得ない長野県という区切りを作り、この区切りに何か意味があるかのような印象を与えてしまっている。その結果、参院選に立候補した186人（長野朝日放送の放送時点では立候補予定者11政党の165人）のうち4人のみと、12の政党・政治団体のうち3政党のみを取り上げた。その他182人の候補者と9つの政党・政治団体は取り上げておらず、候補者間、政党・政治団体間に、明らかに政治的に不公平な取扱いをする結果を招いている。

なお、長野朝日放送と信越放送の両放送局は、委員会の聴き取りにおいて、長野県の視聴者に対して情報を提供するローカル放送局としての役割を意識したと強調していた。ローカル局が、放送区域の視聴者が関心を抱く問題を取り上げることには意味があるが、こと今回のような参議院比例代表選挙にかかわる番組において、長野県関係の候補者だけを取り上げて伝えることには、他の候補者よりも同県関係の候補者に同県内の有権者の関心を向かわせ、ひいてはそれらの候補者に投票することを誘導する効果を生みかねない危うさがあったことにも留意すべきであった。

*

以上のことから、委員会は、本件放送1及び2には、参議院比例代表選挙の制度を正しく理解しないまま番組を制作し、選挙にかかわる放送に求められる公平・公正性を欠いたという点で、放送倫理違反があったと判断した。

*

なお、長野朝日放送の本件放送1については、委員会の審議のなかで、選挙区域について誤った区切りをした放送倫理違反の他に、同一番組中に特定の候補者を頻繁に登場させ、視聴者に強く印象づけるような編集をしている点も問題ではないか、という意見が少なくなかった。この点については、明らかな放送倫理違反とまではいえなくても、今後はそのような疑念を招くことのないよう、より慎重な構成と編集に配慮するよう求めたい。